

令和7年度 ZEV導入加速化事業費補助金 実績報告書類チェックリスト（V2H・V2L補助事業・実績報告）

確 認 項 目		チェック
1 実績報告書(様式第5号)		
	日付が領収書の日付から30日以内になっている。	
	「住所・氏名」が申請書の記入内容と一致している。	
	「交付の指令番号」を正しく記入している。	
2 経産省補助金に係る補助金の額の確定通知書の写し		
	国通知書に記入されている「住所」および「氏名」が、報告書の記入内容と一致している。	
	「額の確定通知書の写し」は、経産省から交付されるものが必要です	
3 補助対象設備の保証書の写し、出荷証明書の写しその他の新品であることがわかる書類		
	型番が他の書類と一致している。	
	購入者が申請者になっている。	
	購入日が補助金申請日より後日になっている。	
4 補助金請求書		
	請求日の日付が空欄になっている。	
	補助金指令金額、指令年月日、指令番号、請求金額等を正しく記入している。	
5 振込先口座が確認できる書類の写し		
	金融機関名、支店名(支店コード)、預金種別、口座番号、口座名義(カナ)が確認できる。	
	通帳の場合は表紙ウラの見開き1ページ目を添付している。	
6 その他知事が必要と認める書類		

V2Hの申請の場合

1 補助対象設備に係る領収書及び領収書内訳書の写し		
	宛名が申請者のものになっている。	
	県内の事業者から購入している。	
	対象経費の全額の支払いが完了している。	
	購入日が補助金申請日より後日になっている。	
2 工事が適正に行われたことが確認できるカラー写真		
	型式がはっきり読み取れる。	
	周囲の状況を含め、取付け位置の全景が確認できる。	

V2Lの申請の場合

1 補助対象設備に係る領収書の写し		
	宛名が申請者のものになっている。	
	県内の事業者から購入している。	
	対象経費の全額の支払いが完了している。	
	購入日が補助金申請日より後日になっている。	
2 納品されていることがわかる書類		
	対象設備のメーカーや型番等が他の書類と相違ない。	

■ 注意事項

- △ V2Hは「交付決定通知書」が起点（ZEVの「額の確定通知書」とは異なる）。申請タイミングに注意。
- △ V2H：工事着工予定日の14日前までに申請が必要。着工後の申請は不可。
- △ V2L：発注前であることが条件。申請後に発注・納品すること（申請前の発注・納品は対象外）。
- △ 申請期間：令和8年5月26日～令和8年12月27日（経産省交付決定受領日から60日以内が優先）。
- △ 実績報告期限：令和9年1月31日まで（工事完了日から30日以内のいずれか早い日）。
- △ V2H・V2LのリースはZEVと異なり「リース事業者」が申請者（リース使用者は申請不可）。
- △ 財産処分制限期間：V2H＝設置完了日から5年、V2L＝納品日から3年。
- △ 提出部数：正本1部＋副本1部（合計2部）を記録の残る方法で郵送（消印有効）。